

科目名 (科目番号)	成人看護学概論 (074131)	教員名	吉田和美 日向野香織 岡嶋妙子	学科等	看護	必修	履修年次	2
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
				オフィスアワー		月	各教員研究室	
授業概要	成人期にある人々の成長発達の特徴について理解し、成人の生活と健康に関する基本的知識を基盤として、成人期のライフスタイルや環境から生じる健康問題と健康レベルに応じた看護のアプローチ方法を学ぶ。成人期の特徴を踏まえ、家庭や職場・地域社会で様々な役割を持つ人々の日常生活及び健康、健康障害に対する理解を深め、成人期にある人々を支援する看護について理解する。 関係する垂直軸:看護、人間の理解、健康の状態、生活環境、コミュニケーション、多職種連携、自己研鑽							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	成人期の特徴	到達目標:「成人」の定義とライフサイクルにおける成人期の位置づけを理解する。 学習目標:人の一生における成人期について学習する。					
	2	成人期の発達課題の特徴	到達目標:青年期・壮年期・向老期の身体的・心理・社会的特徴を理解する。 学習目標:成人期の発達課題の特徴について学習する。					
	3	成人の社会環境と成人の生活	到達目標:成人期にある人の労働環境や日常生活の変化について理解する。 学習目標:社会環境の中での成人の役割と責任について学習する。					
	4	成人期にある人の健康①	到達目標:成人各期の健康問題と保健・医療・福祉に対する政策を理解する。 学習目標:成人の健康の動向と保健・医療・福祉政策について学習する。					
	5	成人期にある人の健康②	到達目標:生活習慣病、職業疾患、ストレスに関連する健康障害について理解する。 学習目標:生活習慣に関連する健康障害について学習する。					
	6	成人期にある人の看護の基本的視点①	到達目標:人間関係の構築、適応の促進、意思決定の支援について理解する。 学習目標:健康障害を持つ成人に関わる際の基本的な視点について学習する。					
	7	成人期にある人の看護の基本的視点②	到達目標:健康学習支援、自己効力、アンドロギーについて理解する。 学習目標:健康行動への行動変容支援について学習する。					
	8	健康の保持増進のための看護	到達目標:健康行動理論、生活習慣病の予防、特定健康診査について理解する。 学習目標:健康の保持・増進、疾病の予防に向けた看護について学習する。					
	9	慢性疾患がある患者と家族の特徴と看護	到達目標:慢性疾患の治療と看護の基本について理解する。 学習目標:慢性期にある人の健康問題の特徴とその支援方法を学習する。					
	10	慢性疾患がある患者と家族の特徴と看護	到達目標:慢性状態にある患者のセルフケアへの看護について理解する。 学習目標:慢性期にある人の健康問題の特徴とその支援方法を学習する。					
	11	救急看護・クリティカルケア看護	到達目標:クリティカルケアの状態の患者のアセスメントと看護の基本を理解する。 学習目標:救急看護・クリティカルケア看護を学習する。					
	12	急性期にある患者と家族の特徴と看護	到達目標:危機的状況の支援と、治療と意思決定への支援について理解する。 学習目標:急性期にある人の健康問題の特徴と、看護の基本について学習できる。					
	13	リハビリテーションの特徴と看護	到達目標:生活の再構築の支援方法と障害の受容について理解する。 学習目標:リハビリテーションと、生活機能障害を有する人への看護を学習する。					
	14	がん治療を必要とする人への看護	到達目標:患者の抱える苦痛、生活上の困難、治療と看護について理解する。 学習目標:がん治療を受ける患者の看護を学習する。					
	15	人生の最期の時を迎える人への看護	到達目標:緩和ケア、エンド・オブ・ライフケア、臨死期の看護について理解する。 学習目標:終末期にある人の健康問題の特徴とその支援方法を学習する。					
成績評価の方法・基準	筆記試験での評価を80%、演習・レポート課題での評価を20%とする。 筆記試験、演習・レポートを合わせて60点以上を合格とし、60点未満の場合は1回のみ再試験を行う。							
教科書	成人看護学 成人看護学概論 改訂第3版 NANDA-I 看護診断 定義と分類	林 直子/鈴木久美 T.ヘザー・ハードマン/上鶴重美	南江堂 医学書院					
参考図書	厚生統計協会編:国民衛生の動向							
教員からのメッセージ	授業内に小レポートを行います。小レポートはコメントを付して授業内で返却します。昨年度の授業評価アンケート結果に基づいて改善をしています。							